

令和6年度 築港中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標をもち、また、その向上への意欲を高める。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

令和6年度 築港中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	12	56	46	1.7	10.1
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	11	66.9	48.9	44.8	53.7	60.3	2.3	3.2	11.6	1.8	2.6
	大阪市	—	65.4	50.2	48.8	53.1	54.0	4.9	4.7	14.3	4.3	6.5
9月3日	大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.4	53.6	5.3	5.0	14.8	5.0	6.9

※ 3年生の理科はB問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】	聞くこと 【リスニング】	書くこと 【ライティング】	話すこと 【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3 年	学校	10	106.0	111.5	163.1	108.7
10月18日	大阪市	—	105.7	104.6	149.6	102.1

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査

＜国語＞ 全国と比較して、「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」の領域において、上回ることができた。一方、「言語の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域において下回った。

＜数学＞ 全国と比較して、「数と式」の領域において、上回ることができた。「図形」「関数」「データの活用」の領域においては、下回った。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

＜成果＞

国語・理科・英語の平均点は、大阪府・大阪市と比較して上回った。特に、英語科では、6点以上上回る結果を残せた。社会・数学の平均点は、大阪府・大阪市の平均点を下回る結果となったが、無解答率では、5教科とも大阪府・大阪市の平均無解答率を下回り、わからない問題もあきらめず解答しているといえる。

＜課題＞

国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」「記述式」で課題がある。

社会では、「記述式」を除き、すべての領域・観点・問題形式において課題がある。

数学では、「記述式」で大阪府平均と並んだ他は、すべての領域・観点・問題形式において課題がある。

理科では、「粒子」の領域・「知識・技能」の観点において課題がある。

英語では、すべての領域・観点・問題形式において、大阪府平均を上回ることができた。

○大阪市英語力調査(GTEC)

・4技能ですべての領域で上回った。特に、「書くこと」の領域では、顕著な成果を上げた。

【今後に向けて】

○全国学力・学習状況調査

＜国語＞

・新聞記事のワークシートを家庭学習などに取り入れている。

・説明文や論説文などのあと、調べ学習をタブレットで行い、スライドを使つての発表に取り組ませる。

・プリントやこれ完学習などの家庭学習を引き続き行い、「読む」力を伸ばすように取り組ませる。

・文法の復習を小テストなどに取り入れていく。

＜数学＞

全領域において、基礎・基本の習得をすべての生徒ができるように、授業中の確認をしっかりしていき、生徒たちが相互に教えあうことで達成していきたい。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

＜国語＞

・授業の中に心情や要約を書く短作文を取り入れる。

・200字作文を宿題などで取り組ませる。

・漢字テストの継続的な取り組み・単元ごとの語句の確認や語彙を増やすようなプリント学習の取り組みを行う。

＜社会＞

・社会科の得点分布を見ると、50点～74点あたりの生徒がいないので、社会の得意な生徒と苦手な生徒の差が激しくなっている。基本的な事項の理解が不十分と考えられるため、復習を頻繁に行っていく必要がある。

＜数学＞

・3学期には、全領域について反復復習の時間をとり、基礎基本の定着に努める。

＜理科＞

・「粒子」領域の平均点が大阪府平均を下回っているため、1,2年生の学習内容の復習を行い、基本的な内容を定着させる。

・「知識・技能」の観点の平均点も大阪府平均を下回っているため、重要語句や実験操作を確認し定着させる。

＜英語＞

・引き続き、毎時間の授業の予習・復習としての家庭学習を継続し意欲の向上をはかっていきたい。

○大阪市英語力調査(GTEC)

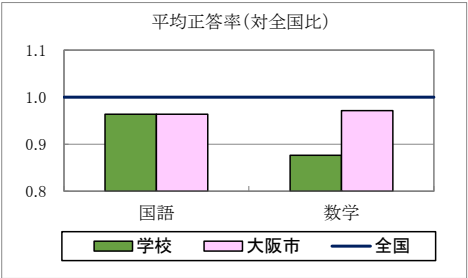
・引き続き、英作文や発表の機会を多く持ち、間違いをおそれずに取り組む環境を整えていきたい。特に、英作文では細かいアドバイスを継続して行っていきたい。

令和6年度 築港中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

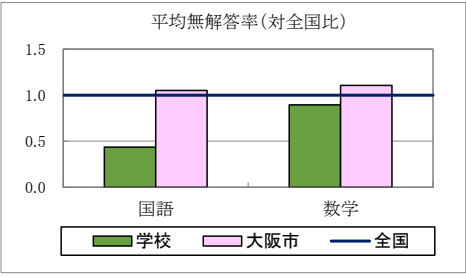
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	56	46
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

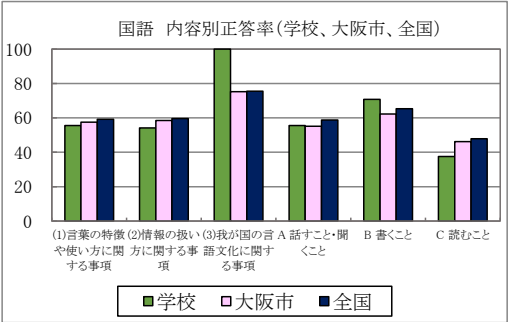


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	1.7	10.1
大阪市	4.1	12.5
全国	3.9	11.3



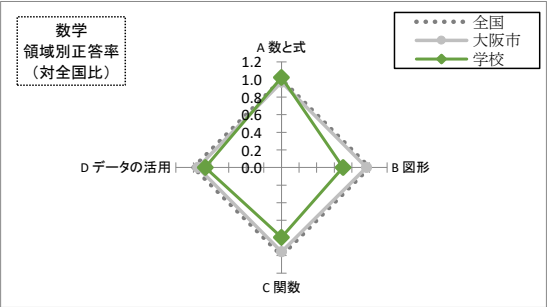
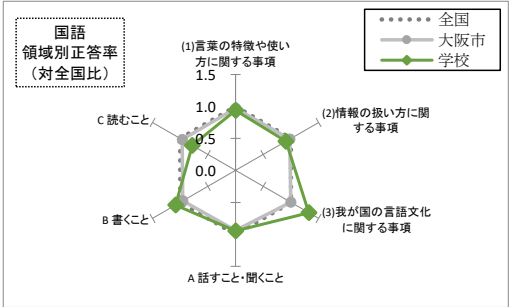
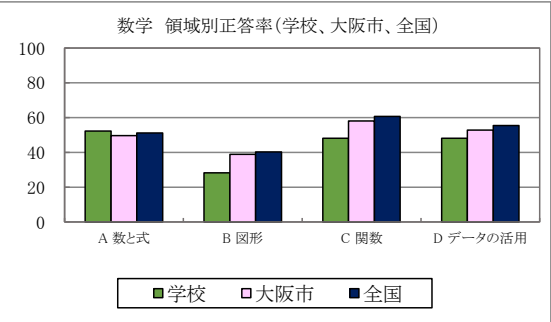
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	3	55.6	57.5	59.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	54.2	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化 に関する事項	1	100.0	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	55.6	55.2	58.8
B 書くこと	2	70.8	62.2	65.3
C 読むこと	4	37.5	46.2	47.9



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	52.3	49.6	51.1
B 図形	3	28.2	38.9	40.3
C 関数	4	48.1	58.1	60.7
D データの活用	4	48.1	52.8	55.5



令和6年度 築港中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

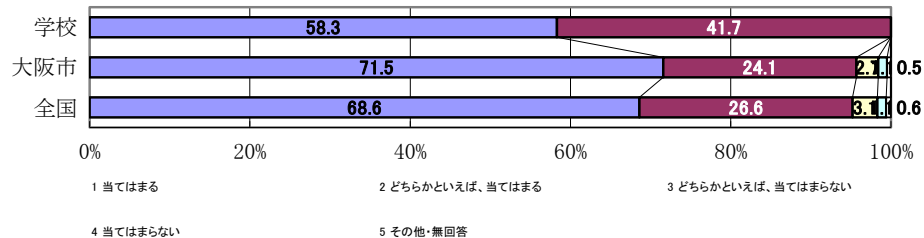
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

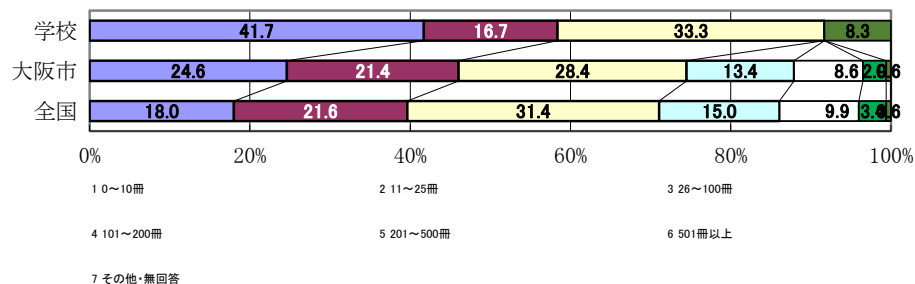
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



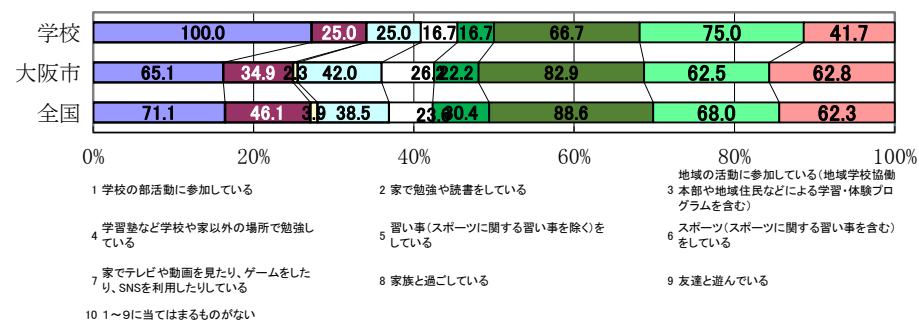
23

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)



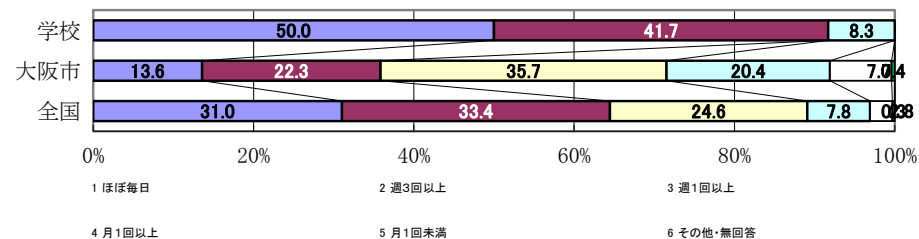
26

放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数選択)



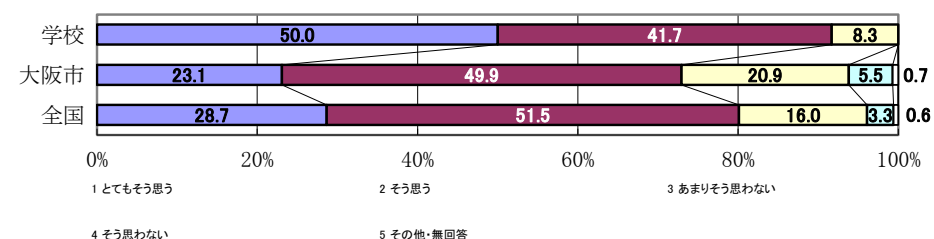
27

1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



70

(1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる



令和6年度 築港中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

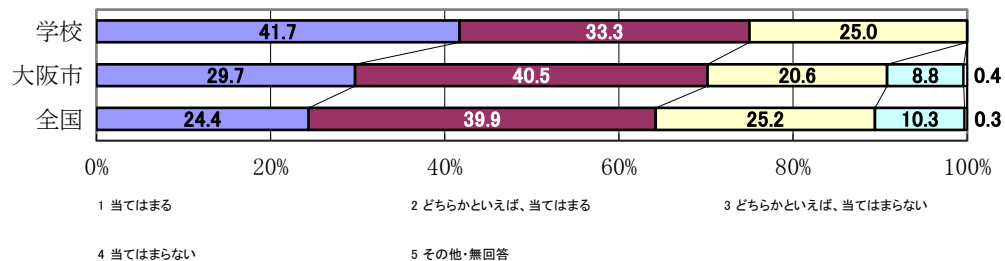
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

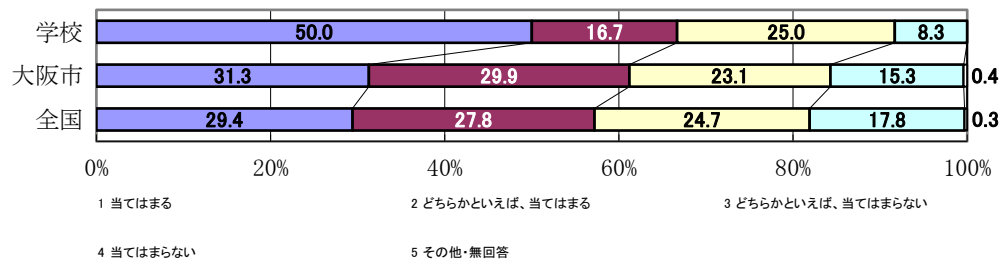
42

国語の勉強は好きですか



50

数学の勉強は好きですか



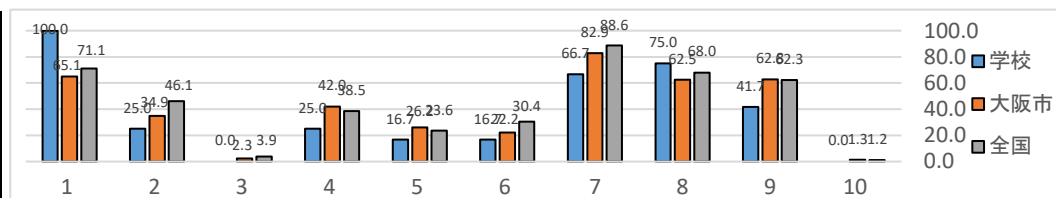
令和6年度 築港中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より（26）

質問番号
質問事項

26

放課後や週末に何を
して過ごすことが多い
ですか(複数選択)



1 学校の部活動に参加している

2 家で勉強や読書をしている

地域の活動に参加している(地域学
校協働本部や地域住民などによる
学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で
勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を
除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事
を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲーム
をしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

10 1～9に当てはまるものがない

令和6年度 築港中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より



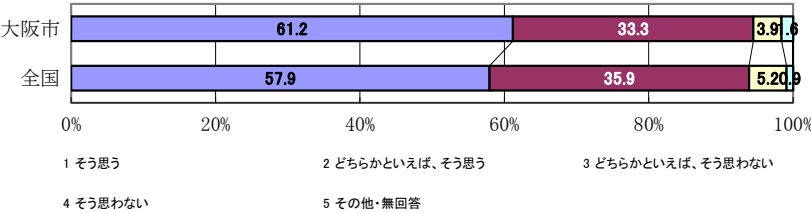
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

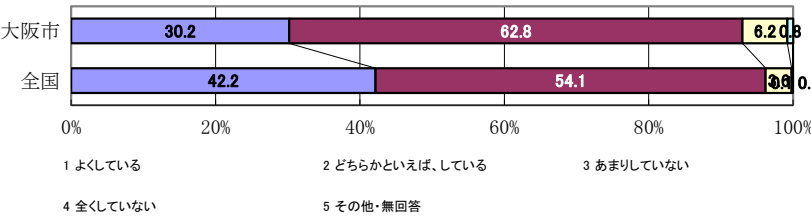
学校 「そう思う」を選択



39

調査対象学年の生徒に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

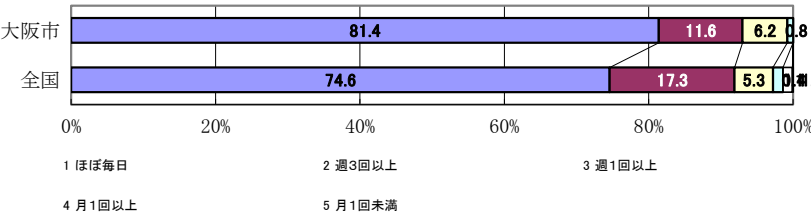
学校 「よくしている」を選択



57

前年度に、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

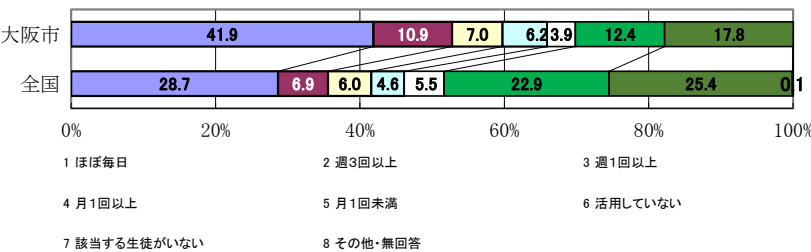
学校 「ほぼ毎日」を選択



69_2

生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(2)希望する不登校生徒に対する授業配信

学校 「ほぼ毎日」を選択



74

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか

学校 「そう思う」を選択

